

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「為替参照 分配金変動型円建て債券ファンド2012-10 (愛称 グッド・スマイル2012-10)」は、このたび、第8期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、高格付（取得時において、A格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末(2016年10月21日)

基準価額	9,779円
純資産総額	1,570百万円
第8期	
騰落率	△ 0.1%
分配金(税引前)合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

為替参照 分配金変動型 円建て債券ファンド2012-10 (愛称 グッド・スマイル2012-10)

単位型投信/海外/その他資産(通貨)/特殊型(条件付運用型)

作成対象期間：2016年4月22日～2016年10月21日

交付運用報告書

第8期(決算日2016年10月21日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

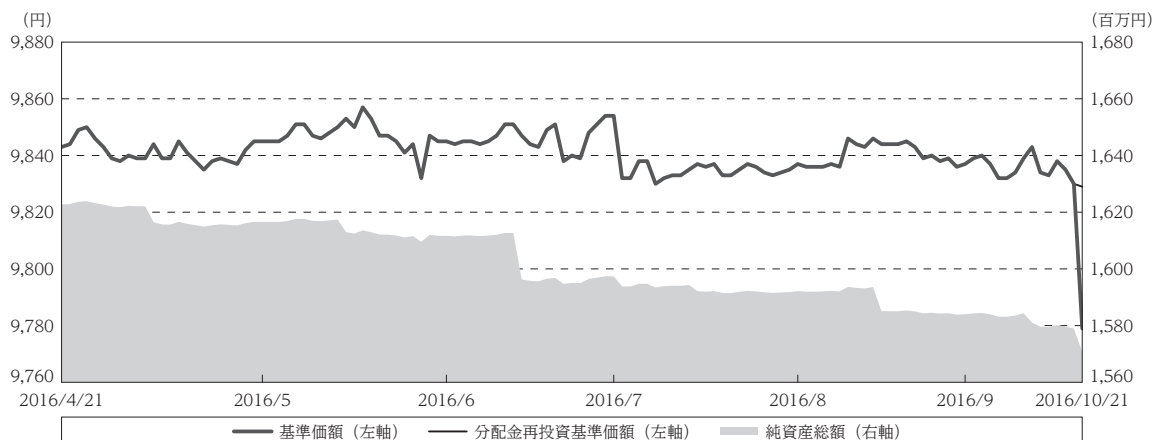
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年4月22日～2016年10月21日)



期 首：9,843円

期 末：9,779円 (既払分配金(税引前):50円)

騰落率：△ 0.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2016年4月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・当ファンドが組み入れているクレディ・アグリコル・C I B・ファイナンス(ガーンジー)リミテッド発行のユーロ円建て債券の保有期間に応じた収益が積み上がったことが、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の発行体の保証会社であるクレディ・アグリコル・C I Bの信用スプレッド(国債に対する利回り格差)が不安定な動きとなり、債券の価格が下落したことがマイナスに寄与しました。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初為替	79.68円 ※2012年10月30日、2012年10月31日及び2012年11月1日における米ドル/円為替レートの平均値(小数点以下第3位切捨て)とします。 《参照した3営業日間の米ドル/円為替レート》 2012年10月30日 79.46円 2012年10月31日 79.58円 2012年11月1日 80.02円			
分配額判定為替	74.68円 ※当初為替に対して5円円高米ドル安の為替レートとします。			
ファンドの信託報酬率	毎 日：信託財産の元本総額に対して年率0.2484% (税抜0.23%) うち委託会社 年率0.2160% (税抜0.20%) うち受託会社 年率0.0324% (税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。 設定日：信託財産の元本総額に対して1.05% (税抜1.00%) うち販売会社 1.05% (税抜1.00%) ※設定日における消費税率は5%です。			
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	高位の目標分配額		低位の目標分配額	
	各期50円		各期20円	
※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。また配分方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。 ※各計算期間において大量の途中換金の申込を受付けた場合には、目標とする分配額の一部あるいは全部をお支払いできないことがあります。				
ユーロ円建て債券の発行体	クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス (ガンジー) リミテッド [保証会社:クレディ・アグリコル・CIB] ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	発行体格付	設定日	当期末
		スタンダード・アンド・プアーズ	A	A
		ムーディーズ	A2	A1

※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

1万口当たりの費用明細

(2016年4月22日～2016年10月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.127	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(11)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(－)	(－)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	13	0.133	
期中の平均基準価額は、9,843円です。			

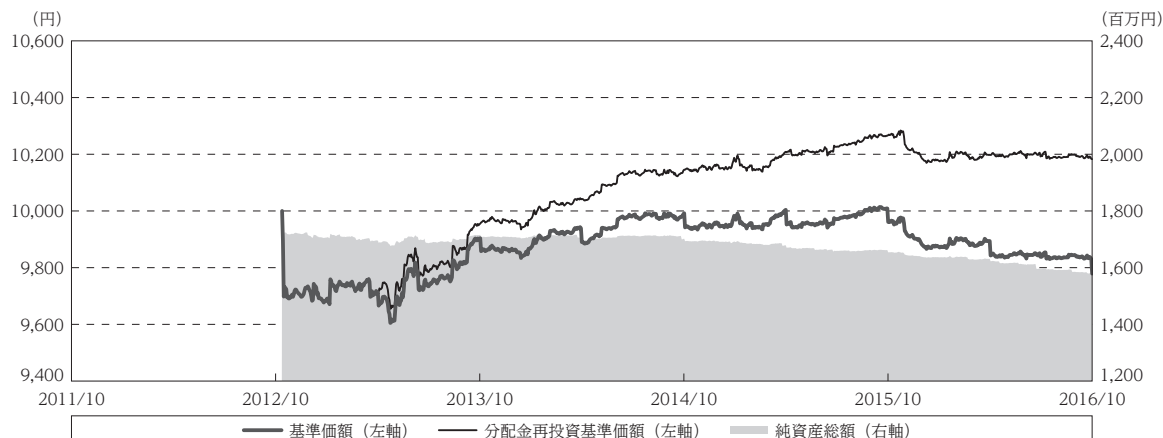
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年10月21日～2016年10月21日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2012年10月30日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年10月30日 設定日	2013年10月21日 決算日	2014年10月21日 決算日	2015年10月21日 決算日	2016年10月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,858	9,942	9,961	9,779
期間分配金合計(税引前) (円)	—	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	1.9	1.2	△ 0.8
米ドル/円為替レート騰落率 (%)	—	23.4	8.5	12.8	△ 13.5
純資産総額 (百万円)	1,772	1,707	1,693	1,654	1,570

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2013年10月21日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 米ドル/円為替レートは参考為替であり、当ファンドのベンチマークではありません。

投資環境

(2016年4月22日～2016年10月21日)

(債券市場)

日銀による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」が続く中、2016年6月下旬に英国の欧州連合(EU)離脱が決定し、株安・円高が進行したことに加え、日銀の追加緩和への期待が高まったことを受けて、10年国債利回りは一時、 -0.300% と過去最低水準まで低下しました。しかし、7月末の金融政策決定会合において、日銀が次回会合で金融政策の「総括的な検証」を行うと表明し、金融政策の先行き不透明感が強まったことから、長期債利回りが急上昇しました。その後、9月の決定会合で日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、10年物国債金利の誘導目標を概ね現状程度(ゼロ%程度)としたことで、10年国債利回りは0%近辺での推移が続きました。

(為替市場)

米国の早期利上げ観測の台頭から、2016年5月にかけて米ドルが対円で上昇する場面もありましたが、日銀の追加緩和見送りに加え、英国のEU離脱決定によるリスク回避の動きを受けて、円高基調が続きました。7月以降は、大型景気対策や日銀の追加緩和に対する期待感から株価が上昇したことを受け、米ドルが対円で戻りを試しましたが、7月末の日銀による追加緩和策が予想を下回る内容となり、円高が進行しました。その後は、原油高や米国の年内利上げ観測の高まり等を背景に、米ドルが対円で反発しました。この結果、当期間において、米ドル/円為替レートは5.3%程度下落しました。

(クレジット市場)

クレディ・アグリコル・CIBの信用スプレッドは、イタリアの銀行の不良債権処理の遅延に対する懸念や英国のEU離脱決定を受けた投資家心理の悪化の影響から、2016年6月にかけて拡大しました。7月以降は、英国の政治に対する不透明感が後退したことや、欧米の株価が堅調に推移し、投資家のリスク回避姿勢が弱まったことから、縮小傾向となりました。9月下旬にかけては、独大手銀行の経営悪化懸念を背景に再度拡大する場面も見られました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年4月22日～2016年10月21日)

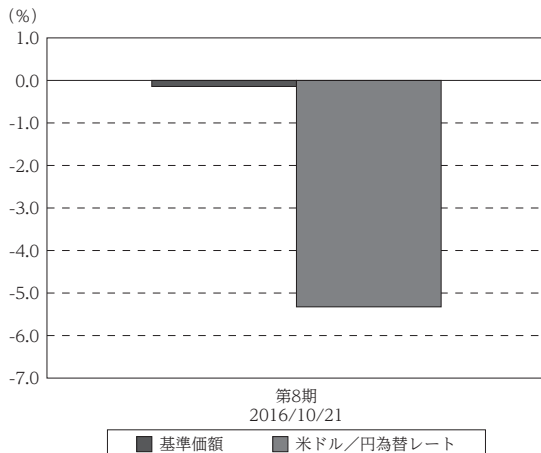
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日(2012年10月30日)に買い付けた、米ドル/円為替レートの水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つ、クレディ・アグリコル・CIB・ファイナンス(ガーンジー)リミテッド発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。なお、期中に一部解約があったため、ユーロ円建て債券を解約相当額売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年4月22日～2016年10月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考為替の騰落率の対比です。

基準価額と参考為替の対比 (騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考為替は、米ドル/円為替レートです。

分配金

(2016年4月22日～2016年10月21日)

当期の収益分配金は、分配額判定日 (2016年9月15日) の米ドル/円為替レートの水準が102.31円となり、分配額判定為替である74.68円よりも米ドル高円安となっていたため、高位の目標分配額である1万口当たり50円 (税引前) とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、元本部分と同一の運用を行ってまいります。

今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

お知らせ

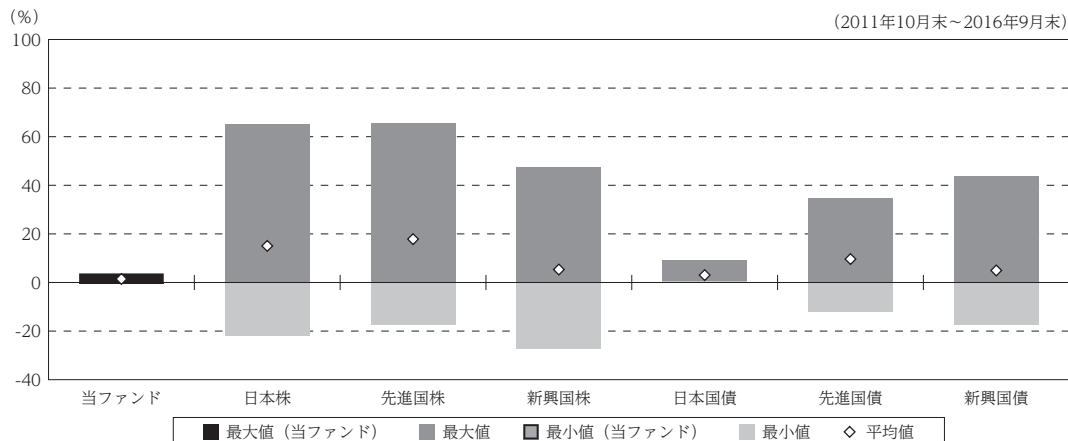
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2012年10月30日から2017年10月20日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時においてA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。
主要投資対象	高格付（取得時において、A格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象とするユーロ円建て債券は、米ドル／円為替レートの水準に応じてクーポンが決定される仕組みです。
分配方針	毎年4月21日、10月21日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	3.7	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 0.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.5	△ 12.3	△ 17.4
平均値	1.4	15.0	17.8	5.3	3.0	9.6	4.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年10月から2016年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2013年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年10月21日現在)

○組入上位10銘柄

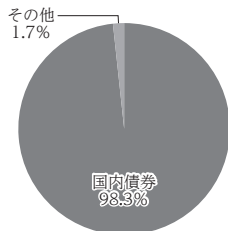
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	CREDIT AGRICOLE CIB 20171016	普通社債券	円	ガーンジー	98.3%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

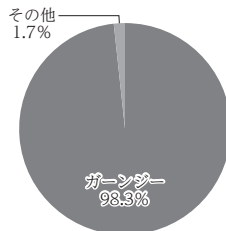
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

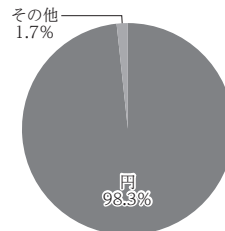
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第8期末
	2016年10月21日
純資産総額	1,570,705,542円
受益権総口数	1,606,244,892口
1万口当たり基準価額	9,779円

(注) 期中における解約元本額は42,320,696円です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。